

Storia e simbologia della carne nell'arte italiana ed europea Dalle origini sino ai giorni nostri

西洋美術に描かれた「肉」-歴史と表象のあり方- 起源から現在まで

西洋の美術作品に描かれている「肉」には、様々な意味が込められ、各時代の文化や日常生活が表現されています。「肉」は富の象徴として、中世の宮廷の豪華な食卓や、ルネサンス期の祝宴の華として描かれるだけでなく、宗教画においても重要な意味を持つ題材として象徴的に使われています。本セミナーでは、ミケランジェロからアンニーバレ・カラッチ、ゴヤ、レンブラントからフランシス・ベーコン、そして現代アートのレナート・グットウーゾまで、イタリアとヨーロッパ芸術の巨匠達の主要な作品を取り上げ、そこに描かれた「肉」の意味と表象のあり方を、歴史や文化的背景を考察しながら読み解き、作品を鑑賞して理解を深めます。



【講師】Martino Cappai

【日時】7月8日(土)10:30~12:40

【定員】12名(4名以上のお申し込みより開講)

【対象】中・上級レベル以上(授業はイタリア語で行います。)

【受講料】●4,500円(受講生/17.4 月期常設講座) ●4,900円(一般)

【申込締切】6月30日(金)※但し定員に達した時点で締切ります。
締切日以降、定員に余裕がある場合は受付いたします。

講師プロフィール

Martino Cappai

カリアリ大学文学部卒業。
シエナ大学美術史修士課程修了。

美術史の研究活動及び各種文化
セミナーの講師を務める。

【申込方法】 申込書に必要事項をご記入のうえ、リングビーバ・イタリア語教室にご提出下さい。

申込書のご提出と同時に、受講料を銀行振込か事務室にてお支払い下さい。

一旦納入された受講料は返金いたしませんので、あらかじめご了承下さい。

所定人数(4名)に満たない場合は開講致しません。その場合は受講料を返金致します。